

令和6年度 第3回 和地小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月16日（水） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 和地小学校 相談室
- 3 出席委員 宇津山 茂、松木 和見、田中 恵子、牧田 眞喜夫、松尾 隆廣、
山本 真希、中村 日出雄、岡井 保、高橋 伸幸、西浦 麻里子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 安澤 伊織（和地協働センター所長）
中村 規子（和地地区民生委員児童委員協議会会長）
- 6 学 校 青島 秀典（校長）、石塚 稚人（教頭）、中村 圭佑（生徒指導）
- 7 教育委員会 なし
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 中村 圭佑
- 10 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、田中恵子委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 1学期学校評価アンケートの結果について
- (2) 和地小学校のSWOT分析について

12 会議記録

司会から、委員総数10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 1学期学校評価アンケートの結果について

○アンケートの項目や内容について

- ・児童アンケートは低学年には漢字はどうしているか。またどのような形でアンケートをとっているか。（松尾委員）
→低学年にはひらがなのアンケートにしている。集計の容易さから、紙ではなくタブレットPCを使って回答するようにしている。（教頭）
- ・保護者はどのように答えているのか（田中委員）
→さくら連絡網のアンケート機能を利用している（教頭）
- ・宿題はどんな内容を出しているか。（松木委員）
→宿題は本読み、書き取り、プリントや自主学習を行っている。家庭へは、三者面談を通して個別にアドバイスを伝えている。（教頭）
- ・「学習の内容がわかる」のアンケートについて、子供と保護者の認識が離れているのは、何が考えられるか。（田中委員）
- ・子供は普段の授業でのやる気や分かったという気持ちから理解していると回答して

いるのではないか。それに対して保護者はテストの結果で判断しているのではないか。(教頭)

- ・アンケート結果「見ていて怖いときがある」ということについて、どこが怖いのか、具体的に対応をしたほうがよいのではないか(高橋委員)
 - ・登校と下校の様子は違う。下校時は疲れもたまっている。グリーンベルトから車道の方にでないように、2列3列ではなくて、気を付けて帰るように、注意をしたり声をかけたりする必要がある。注意の声掛けは、子供が委縮してしまうこともあるので、「おかえり」のような声掛けが良いと思う。(宇津山委員)
 - ・今年度初めに実施した下校の見守りを2週間にしたのは効果があったのか。(松尾委員)
 - ・効果はあった。安全に下校できるようになったと感じる。(宇津山会長)
 - ・「来年度は下校見守りを3週間行うのがよい」と以前提案したが、危うい行動に対して個別対応できれば2週間でよいと思う。(松尾委員)
 - ・保護者アンケートに、「登下校」や「給食」の内容を加えるとよいと思う。(岡井委員)
 - ・保護者アンケートにも「早寝、早起き」の内容を加えるとよい。児童アンケートの回答が本当に正しいかどうか。(松木委員)
- 次回のアンケートに反映させていただきます。(教頭)

(2) 和地小学校の SWOT 分析

2グループに分かれ、和地小の外部環境や内部環境のプラス面、マイナス面について出し合った。

<多く出た意見>

- ・自然環境や歴史が豊かな地域であるので、和地小の特色として学習活動に生かしていくとよい。
- ・地域、保護者が協力的で、見守り活動やボランティア活動が活発に行われている。半面、活動が一部の人に限られていたり、コミュニティスクールがまだ周知されていないなったりする実態がある。
- ・児童の安全について、地域の方や交番の方との連携をより密にしていきたい。
- ・児童会の和地レンジャーや地域の挨拶運動が子供たちの元気な挨拶につながっているので、ぜひ続けていきたい。
- ・施設の老朽化が進んでいる。

13 その他

連絡事項

- ・次回は、令和7年2月19日(水)午後13時30分から相談室で開催する旨の報告が

あった。